

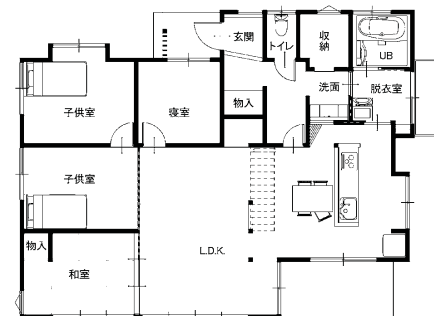


## 設計主旨

### CONCEPT

今回、築50年の家で国が目標としている既存住宅の耐震補強や既存住宅の長期優良住宅への改修の取組をチャレンジしようと考えました。築50年となるとさすがに一度骨組みにして基礎や骨組みからやりかえる必要があり、そこで将来を考えた少し割高になるが、補助金や税制優遇などのメリットがある安中市耐震補強（安建発 第733号 平成27年9月16日）や国の長期優良住宅リフォームの補助金を利用することにより、少しでもコストを抑えながら高性能な改修工事をすることにしました。まず基礎、構造（耐震等級）、断熱材、サッシュ（省エネ等級）、劣化対策等級などの各項目をクリアするために、現状がどのようになっているかのインスペクションを入念に行い、そのうえでお客様が希望されている間取りに合わせて、さらに基準をクリアすべく対策を立てました。当初は実現不可能かと思いましたが何とか基準をクリアし進めることができました。間取りやデザイン、仕様の要望は多岐にわたりましたが、若いご夫婦が子供と楽しく安全で快適に暮らせる家を計画しました。

### 平面図



## 優秀賞 | ぐんまの家

GUNMA HOUSING AWARD

(リフォーム住宅賞)

# 郷原のおばあちゃんの家

(ごうばらのおばあちゃんのいえ)

設計者 / 株式会社 関工務所

施工者 / 株式会社 関工務所



## 講評

### REVIEW

祖母が使っていた築50年の既存住宅をお孫さんの家族用にリフォームした住宅である。しっかりとした建物調査の後、耐震改修と、断熱やサッシの入れ替えを行い、省エネ性能の高い長期優良住宅へと改修された。

耐震診断と補強計算を行い、まず基礎を作り直し、構造補強、瓦葺屋根を軽い金属屋根に入れ替えるなど、耐震性能を高めている。優れた改修工事により地震への不安を解消することとなった。

室内は南側庭に面して大きめの窓を設け、リビング・ダイニング・キッチンが広々と横に繋がり、明るいモダンな空間を実現している。天井には古くからの構造材の梁が部分的に露出されており、過去からのつながりを感じさせてくれる。個室や和室は引き戸を開けることでオープンに繋がり、洗面や洗濯・物干しなどの家事動線はコンパクトで、使い勝手の良い間取りにまとまっている。

古い建物を安心して快適に暮らせるものに改修することは、建主、設計、施工者共に協力し合い多くの知恵と労力が必要であるが、この住宅はそれが実現できた好例といえるだろう。

